



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所 東
 コード番号 3405 URL <http://www.kuraray.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 植垣 文雄 (TEL) 03-6701-1070
 I R・広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 平成29年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	251,340	3.0	37,505	8.3	36,264	7.7	23,988	7.2
28年12月期第2四半期	244,099	△7.1	34,641	9.6	33,681	4.7	22,376	6.9

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 22,225百万円(-%) 28年12月期第2四半期△13,084百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	68.21	68.02
28年12月期第2四半期	63.70	63.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	737,876	536,453	71.6
28年12月期	725,433	520,978	70.7

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 528,361百万円 28年12月期 512,959百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	20.00	—	21.00	41.00
29年12月期	—	20.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	9.2	75,000	10.6	73,000	10.3	46,000	13.9	130.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年12月期2Q	354,863,603株	28年12月期	354,863,603株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	2,931,596株	28年12月期	3,363,405株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年12月期2Q	351,699,062株	28年12月期2Q	351,303,259株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2017年1月1日～2017年6月30日)における経営環境は、引き続き政情面の不安定要素がありましたものの、為替や原油価格の動向は比較的安定しており、世界経済は概ね順調に推移しました。日本経済は、企業収益が拡大し、雇用・所得の改善によって個人消費に持ち直しの動きがみられ、景気は徐々に上向いています。米国経済は、力強い雇用状況を背景に個人消費が伸長し、好調を維持しています。欧州は、英国がEU離脱を選択した後も多くの懸念材料はありましたが、足元の景気は順調に推移しています。また、中国では政府主導による諸施策の効果が表れ、個人消費も上向き傾向にあり、回復が進んでおります。新興国も順調な世界経済の影響を受け、景気回復基調にあります。

このような状況において、当社グループは「世界に存在感を示す高収益スペシャリティ化学企業」を実現すべく、2015年度よりスタートした中期経営計画「GS-STEP」において掲げた経営戦略を順次実行しています。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比7,240百万円(3.0%)増の251,340百万円、営業利益は2,863百万円(8.3%)増の37,505百万円、経常利益は2,582百万円(7.7%)増の36,264百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,611百万円(7.2%)増の23,988百万円となりました。

前連結会計年度において「活性炭事業」、「エネルギー材料事業」をその他セグメントに区分していましたが、2017年1月1日のクラレケミカル株式会社の吸収合併に伴い、当連結会計年度にはこれらの事業を「炭素材料事業」に統合し機能材料セグメントへ編入することとしました。なお、当第2四半期連結累計期間の比較及び分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。

[ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は128,519百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は31,346百万円(同6.6%増)となりました。なお、売上高の減少は利益率の低い酢酸ビニルモノマー(VAM)の外部への販売を減らし、自社消費原料に向けたことによるものです。

- ① ポパール樹脂は米国市場を中心に販売量が増加し、順調に推移しました。光学用ポパールフィルムは販売量が増加しました。なお、当第2四半期より西条事業所の新設備の稼働を開始しました。水溶性ポパールフィルムは引き続き需要が旺盛な個包装洗剤用途を中心に好調でした。PVBフィルムは高付加価値品の拡販が進みました。
- ② EVOH樹脂<エパール>は、食品包装用途、自動車ガソリンタンク用途ともに販売量が拡大しました。

[イソプレン]

当セグメントの売上高は28,009百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益は4,080百万円(同2.3%増)となりました。

- ① イソプレン関連では、ファインケミカル、熱可塑性エラストマー<セプトン>、液状ゴムは原燃料価格変動の影響を受けたものの、堅調に推移しました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、自動車用途、コネクタ用途、LED反射板用途のいずれも数量が伸長し、順調でした。

[機能材料]

当セグメントの売上高は34,606百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は3,399百万円(同70.4%増)となりました。

- ① メタクリルは、主に樹脂の数量が伸長したことに加え、好市況を背景とした収益の改善により、好調に推移しました。
- ② メディカルは、歯科材料のジルコニア系新素材の数量が寄与し、順調に推移しました。
- ③ 人工皮革<クラリーノ>は、既存プロセス品ならびに新プロセス品ともに順調に推移しました。
- ④ 炭素材料は、活性炭の高付加価値品の輸出が増え、順調に推移しました。

[繊維]

ビニロンの数量が引き続き拡大しましたが、原燃料価格上昇の影響を受けました。また、生活資材は堅調に推移した結果、売上高は26,424百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益は2,903百万円(同3.1%減)となりました。

[トレーディング]

国内衣料分野はユニフォーム用途が堅調であったものの、スポーツ、フォーマル用途では苦戦しました。一方、中国では日系スポーツアパレル縫製品を中心に順調であったほか、ベトナムでも昨年行った増強投資の効果があり、縫製事業が拡大しております。また、資材分野は総じて堅調に推移し、樹脂・化成品関連分野は輸出を中心に順調でした。この結果、売上高は62,661百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は1,935百万円(同2.1%増)となりました。

[その他]

その他事業は、概ね好調に推移しました。この結果、売上高は23,698百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は1,438百万円(同139.2%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想について、原燃料価格が年初予想より高い水準で推移していることでコストアップが見込まれるものの、多くの事業が引き続き順調であることから、以下のとおり修正することとします。

2017年12月期(2017年1月1日～2017年12月31日) 通期連結累計期間業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2017年2月8日)	530,000	70,000	68,000	42,000	119 49
今回修正予想 (B)	530,000	75,000	73,000	46,000	130 71
増減額 (B-A)	—	5,000	5,000	4,000	
増減率 (%)	—	7.1	7.4	9.5	

第3四半期以降の平均為替は米ドル110円、ユーロ120円、国産ナフサ価格43千円/KLを前提としています。

<ご参考>2017年12月期(2017年1月1日～2017年12月31日) セグメント別業績予想

(単位:億円、単位未満四捨五入)

	売上高		営業利益	
	第2四半期実績	通期	第2四半期実績	通期
ビニルアセテート	1,285	2,720	313	635
イソブレン	280	570	41	85
機能材料	346	730	34	65
繊維	264	520	29	55
トレーディング	627	1,280	19	40
その他	237	540	14	25
消去又は全社	△526	△1,060	△76	△155
合計	2,513	5,300	375	750

注:上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,437	45,424
受取手形及び売掛金	105,010	105,715
有価証券	39,064	47,546
商品及び製品	73,504	81,236
仕掛品	12,260	12,200
原材料及び貯蔵品	25,504	26,478
繰延税金資産	5,974	5,822
その他	12,669	10,186
貸倒引当金	△451	△431
流動資産合計	324,974	334,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,343	58,912
機械装置及び運搬具（純額）	162,963	165,649
土地	19,526	19,521
建設仮勘定	29,904	28,697
その他（純額）	5,090	5,200
有形固定資産合計	271,827	277,980
無形固定資産		
のれん	26,256	25,009
顧客関係資産	28,880	26,823
その他	24,401	24,847
無形固定資産合計	79,537	76,680
投資その他の資産		
投資有価証券	34,023	32,569
長期貸付金	260	255
退職給付に係る資産	827	969
繰延税金資産	7,097	7,789
その他	6,929	7,497
貸倒引当金	△43	△45
投資その他の資産合計	49,093	49,035
固定資産合計	400,458	403,697
資産合計	725,433	737,876

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,424	36,041
短期借入金	7,626	7,612
未払費用	10,719	9,244
未払法人税等	7,635	10,474
賞与引当金	5,296	4,864
その他の引当金	4	14
その他	28,430	22,239
流動負債合計	96,136	90,491
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	42,172	42,134
繰延税金負債	25,442	24,268
役員退職慰労引当金	209	199
環境対策引当金	3,580	6,725
退職給付に係る負債	11,542	12,398
資産除去債務	4,192	4,310
その他	11,178	10,893
固定負債合計	108,318	110,931
負債合計	204,454	201,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,178	87,204
利益剰余金	304,277	321,085
自己株式	△3,972	△3,463
株主資本合計	476,439	493,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,913	11,373
繰延ヘッジ損益	△110	3
為替換算調整勘定	30,054	27,226
退職給付に係る調整累計額	△4,336	△4,023
その他の包括利益累計額合計	36,520	34,579
新株予約権	719	590
非支配株主持分	7,300	7,502
純資産合計	520,978	536,453
負債純資産合計	725,433	737,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年1月1日 至2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)
売上高	244,099	251,340
売上原価	159,919	162,880
売上総利益	84,180	88,459
販売費及び一般管理費		
販売費	13,342	13,843
一般管理費	36,196	37,110
販売費及び一般管理費合計	49,538	50,953
営業利益	34,641	37,505
営業外収益		
受取利息	111	158
受取配当金	1,983	825
持分法による投資利益	0	1
その他	1,026	807
営業外収益合計	3,122	1,791
営業外費用		
支払利息	358	354
為替差損	459	880
その他	3,264	1,798
営業外費用合計	4,082	3,033
経常利益	33,681	36,264
特別利益		
ノウハウ譲渡益	—	2,500
特別利益合計	—	2,500
特別損失		
環境対策引当金繰入額	—	3,146
投資有価証券評価損	—	556
特別損失合計	—	3,702
税金等調整前四半期純利益	33,681	35,061
法人税、住民税及び事業税	10,035	11,853
法人税等調整額	814	△1,201
法人税等合計	10,849	10,652
四半期純利益	22,832	24,409
非支配株主に帰属する四半期純利益	455	421
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,376	23,988

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	22,832	24,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,617	460
繰延ヘッジ損益	44	122
為替換算調整勘定	△32,815	△3,079
退職給付に係る調整額	473	313
その他の包括利益合計	△35,916	△2,183
四半期包括利益	△13,084	22,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,538	21,795
非支配株主に係る四半期包括利益	454	429

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,681	35,061
減価償却費	20,042	20,309
為替差損益(△は益)	2,654	84
投資有価証券評価損益(△は益)	—	556
環境対策引当金繰入額	—	3,146
売上債権の増減額(△は増加)	△2,308	△541
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,992	△8,183
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,627	△521
その他	2,649	△4,400
小計	49,100	45,510
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△10,991	△6,427
その他	1,740	666
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,848	39,749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△3,728
有価証券の純増減額(△は増加)	—	△21,499
有形及び無形固定資産の取得による支出	△24,402	△27,914
投資有価証券の取得による支出	△907	△67
投資有価証券の売却及び償還による収入	3	—
その他	△81	△1,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,387	△55,108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	937	—
長期借入金の返済による支出	△66	△47
配当金の支払額	△7,726	△7,381
その他	△297	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,153	△7,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,207	△37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,100	△22,890
現金及び現金同等物の期首残高	54,750	83,389
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	231	193
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,082	60,693

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 2016年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しています。

(環境対策引当金)

当第2四半期連結会計期間より、PCB廃棄物等の処分に係る見積額に加え、土壌対策工事に係る見積額を新たに環境対策引当金に含めて計上しています。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当該工事の見積額3,146百万円を環境対策引当金繰入額として特別損失に計上しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	113,988	14,001	24,626	18,309	57,667	228,593	15,506	244,099	—	244,099
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,636	11,951	9,270	5,555	1,430	42,844	6,686	49,531	△49,531	—
計	128,624	25,953	33,896	23,864	59,097	271,437	22,193	293,631	△49,531	244,099
セグメント利益	29,394	3,990	1,995	2,994	1,895	40,270	601	40,871	△6,229	34,641

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△6,229百万円には、セグメント間取引消去707百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,937百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	113,108	15,106	24,704	20,453	60,806	234,180	17,159	251,340	—	251,340
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	15,410	12,903	9,901	5,970	1,854	46,039	6,538	52,578	△52,578	—
計	128,519	28,009	34,606	26,424	62,661	280,220	23,698	303,918	△52,578	251,340
セグメント利益	31,346	4,080	3,399	2,903	1,935	43,665	1,438	45,103	△7,597	37,505

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△7,597百万円には、セグメント間取引消去764百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△8,362百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた活性炭事業及びエネルギー材料事業について、2017年1月1日に連結子会社であるクラレケミカル株式会社を吸収合併したことに伴い、損益管理区分の見直しを行い、これらの事業を炭素材料事業に統合した上で「機能材料」に含めて記載する方法に変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しています。